



アーバンギャラリー 第3弾

木田金次郎展

プロフィール

画家 木田金次郎
(1893~1962)

北海道を代表する画家のひとり。

1893（明治26）年岩内に生れる。

1910（明治43）年、有島武郎との運命的な出会いを果し、有島の小説「生まれ出づる悩み」の主人公のモデルとして、知られるようになる。

有島の激励を受けながら、厳しい漁師生活の中で岩内周辺の自然を描き続け、1923年（大正12）年、有島の没後、家業である漁業を捨てて画業に専念。

1954（昭和29）年の岩内大火（市街地の8割を焼失）により、それまでの作品1,500点余を焼失するも再起、生涯、岩内を離れることなく、精力的な創作を続け、独自の画業を切り拓く、1962（昭和37）年、69歳で没。

2018年6月1日～2018年10月31日

開館日：毎日 午前11時～午後2時、観覧料無料

主催：公益財団法人 萬田記念財団

アーバンギャラリー

札幌市中央区南2条西1丁目（サービス付き高齢者向け住宅アーバンサークル奥）

公益財団法人

萬田記念財団